

日本学術会議 第三部拡大役員会
(第24期・第4回)
〔第8回理学・工学系学協会連絡協議会〕
議事要旨

1. 日時

平成30年3月30日(金) 10:00~12:00

2. 場所

日本学術会議講堂

3. 出席者

第三部役員	大野 英男	部長
	徳田 英幸	副部長※情報学委員会委員長兼任
	高橋 桂子	幹事
	米田 雅子	幹事※土木工学・建築学委員会委員長兼任

日本学術会議 渡辺 美代子 副会長

環境学委員会	副委員長	浅見 真理
数理学委員会	委員長	坪井 俊
物理学委員会	副委員長	松尾 由賀利
地球惑星科学委員会	副委員長	田近 英一
情報学委員会	委員長	徳田 英幸
化学委員会	副委員長	茶谷 直人
総合工学委員会	委員長	吉村 忍
機械工学委員会	幹事	菱田 公一
電気電子工学委員会	委員長	大西 公平
土木工学・建築学委員会	委員長	米田 雅子
材料工学委員会	委員長	山口 周

理学・工学系学協会連絡協議会出席者(60学協会)

環境科学会、日本環境変異原学会、日本水環境学会、日本数学会、日本応用数学会、統計関連学会連合、数学教育学会、日本OR学会、日本物理学会、日本天文学会、日本地球惑星科学連合、情報処理学会、日本データベース学会、人工知能学会、日本化学連合、日本化学会、高分子学会、日本分析化学会、有機合成化学協会、石油学会、錯体化学会、エネルギー・資源学会、プラズマ・核融合学会、日本原子力学会、日本品質管理学会、

計測自動制御学会、精密工学会、日本表面科学会、日本航空宇宙学会、横断型基幹科学技術研究団体連合、日本船舶海洋工学会、日本機械学会、空気調和・衛生工学会、日本ガスタービン学会、日本トライボロジー学会、日本マリンエンジニアリング学会、日本冷凍空調学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、日本建築学会、都市住宅学会、日本コンクリート工学会、地盤工学会、砂防学会、日本地震学会、日本応用地質学会、日本地すべり学会、日本地震工学会、日本計画行政学会、日本火災学会、地理情報システム学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、資源・素材学会、溶接学会、日本塑性加工学会、日本バイオマテリアル学会、日本工学会

事務局 高橋補佐、柳原、宮本、駒木、石尾

4. 配布資料

- 資料1 日本学術会議と学協会の連携について
- 資料2 理学・工学系学協会連絡協議会／意見シート
- 資料3 協力学術研究団体規定
- 資料4 意見シート回答の概要メモ（速報版）

参考資料1 理学・工学系学協会連絡協議会の設置趣旨

参考資料2 理学・工学系学協会連絡協議会メンバーリスト

5. 議事

- 1) 開会の挨拶：第三部部长 大野英男
- 2) 第三部拡大役員会 役員と各分野別委員会委員長の紹介
本協議会の開催にあたり、第三部役員、渡辺副会長、各分野別委員会からの出席者及び日本学術協力財団の谷口常務理事より一言ずつ挨拶があった。
- 3) 趣旨説明「学協会と日本学術会議の連携のあり方について」
- 4) 学協会のご意見発表
- 5) 全体議論
米田幹事より、資料1及び資料2に沿って、本協議会の趣旨について説明があったのち、参加学協会より意見発表があった。
学協会が抱える課題としては、
 - ・法人化に伴う事務負担の増加
 - ・会員数の減少
 - ・論文誌の発行費用や法人税、会員数の減少に伴う会費の減収等による苦しい財政状況

- ・若手人材の育成・確保
- ・和文論文誌の苦戦

などが挙げられ、また、日本学術会議に対する要望としては、

- ・日本学術会議での議論の学協会へのフィードバック
 - ・政府への橋渡しや、マスコミを通じた社会への情報発信
 - ・学術会議が学協会間の連携・情報交換の場として機能すること
- などが挙げられた。

6) 閉会

以上